

R6「飯田型キャリア教育を軸として、地育力を活かした幼児期から高等教育期まで一貫した人材育成」の推進体制

飯田市キャリア教育推進協議会

- ・キャリア教育推進に関する
- ①基本的な方針の策定 ②評価及び検証
- ・事務局：生涯学習・スポーツ課、学校教育課

- キャリア教育推進コーディネーター
(教育支援指導主事)
- 生涯学習・スポーツ課に在籍し、
キャリア教育全体の事業調整を行う

幼稚園・保育園・認定こども園	小学校	中学校	高校	大学・短大・専門学校
○地域を散歩する・体験する・浸る ・お手伝い ・友だちとの遊び ・地域行事、地域の方や小中学生との交流	○地域を学び、考え、伝える ・決められたお手伝い・当番活動 ・家族の仕事調べ・社会見学 ・児童会活動・地域行事への参加	○地域とつながり、関わる ・キャリアフェス・地域の職場体験学習 ・生徒会活動・ボランティア ・地域行事への参加・参画	○地域のために行動・貢献する ・地域と協働した学び・探究学習 ・地元企業を知る・インターンシップ ・講座への参加・ボランティア	○地域のために行動・貢献 ・専門性を活かした地域と協働した学び ・探究学習・ボランティア

キャリア教育研究委員会

- ・キャリア教育の推進に関わる具体的な事業を行う ・関係課：飯田市民館 ・事務局：学校教育課、生涯学習・スポーツ課

園小連携推進委員会

- ・「参観や遊びのつながり」を支える取組を考えたり周知したりする。
- ・事務局：学校教育課、保育家庭課、こども課

《小中連携・一貫教育》

- ・「ふるさと学習」中校に小中一貫したカリキュラムに沿って実践を重ねる。
- ・事務局：学校教育課 ・関係課：生涯学習・スポーツ課

高校・地域連携研究会

- ・「探究学習」の在り方を研究
- ・事務局：大学誘致連携推進室、生涯学習・スポーツ課

高等学校長との懇談会

- ・キャリア教育、探究的な学び、就労等への支援や情報共有を行う
- ・事務局：生涯学習・スポーツ課

「職場体験・福祉体験」

- 「結いジュニアリーダー育成講座」
- ・事務局：学校教育課、生涯学習・スポーツ課

「地域人教育」

- ・事務局：飯田市民館
- 「就労促進に関する事業」
- ・事務局：産業振興課
- 「学輪IDA・高大連携」
- ・事務局：大学誘致連携推進室

飯田市キャリア教育推進フォーラム

- ・発表、評価の場として年1回開催 ・事務局：キャリア教育推進協議会事務局

家庭におけるキャリア教育（わが家の結びタイム）

- ・関係課：保育家庭課、学校教育課、生涯学習・スポーツ課 等

地域・社会教育におけるキャリア教育

- (地域行事への参加・参画。ボランティア等)
- ・関係課：飯田市民館、学校教育課、生涯学習・スポーツ課、社会福祉協議会 等

庁内調整会議

- ・各課が事業推進する上での横の連携に重点を置いた調整・情報共有
- ・関係課：学校教育課、飯田市民館、大学誘致連携推進室、産業振興課、保育家庭課、共生・協働推進課、ゼロカーボン指定推進課 ・事務局：生涯学習・スポーツ課

別冊資料1

地育力で私と地域の未来をひらく「飯田型キャリア教育」の全体像（イメージ）



R6年度 飯田市教育委員会

教育ビジョン：地育力による 未来をひらく ころ豊かな人づくり

*地育力：飯田の資源を活かして飯田の価値と独自性に自信と誇りをもつ人を育む力

変化の激しいこれからの時代を生き抜くために、地球規模で物事を考える広い視野と、生まれ育った地域に誇りと愛着を育むことが大切だと考えています。「地育力」を活用したふるさと学習や体験的な学びを軸とした「飯田型キャリア教育」を幼児期から高等教育期まで、発達段階に応じて切れ目なく推進していきます。「飯田型キャリア教育」では、自らの生き方を主体的に切りひらき、人とつながりあっていくための力を育み、ふるさとを心根に、未来の地域の担い手や地域を支える人（ふるさとのおよきに気づき、自ら関わろうとする態度をもつ人）づくりを目指します。

飯田型キャリア教育で育みたい4つの力

- 人とつながる力(結いの力) 例：自己表現力、コミュニケーション能力、リーダーシップ、チームワークなど
- 自分を見つめ夢や希望を描く力(みつめる力) 例：自己の役割理解、前向きに考える力、忍耐力、主体性など
- 課題をもって最後までやり抜く力(うごく力) 例：情報収集・課題発見力、計画力、実行力、評価・改善など
- 職業や仕事について興味と関心をもつ力(みとおす力) 例：学ぶこと・働くことの意義や役割、多様性の理解など

ふるさとのおよきに気づき、自ら関わろうとする態度をもつ人

【事例③】竜東中学校

■総合的な学習の時間を見直す

・単発的な活動が多かった反省から、「ふるさと学習」を3年間かけてゆとりをもって、地域の人・もの・ことに繰り返し関わりながら探究型の学習となるように見直して、高校へつなげていく。

■竜東の魅力再発見「なんでこんなところにキャンプ場が！」(1年)

・地域おこし協力隊など本気で取り組む地域の方の想いに触れ、地域に対する関心を高め、自分事に置き換えて、キャンプを提案。



【事例①】三穂保育園

■飯田市の自然を生かした

「いいだ型自然保育」

・園庭のミニ田んぼでどろんこ遊びを全身で楽しんだり、ヤギとの触れ合いで生き物の温かみを感じたり、地域の方にも支えられ、心も体も五感で感じる体験を大事に。

■おいしくできたよ 五平餅作り！

・おばあちゃんが教えてくれたレシピには「人肌とは？」など知らないことばかり。「なんだろう？」

「やってみよう！」とワクワクしながら子どもが主

体となる保育を実践。



※左下は保育園・認定こども園の実践を示し、右上がりのキャリア形成上に小学校や中学校のキャリア教育実践があり、右上が高等学校・高等教育機関の実践を表す。

子どもたちが自分事として取り組み、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりして、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現につなげる。

【カリキュラム・マネジメント】

地域の魅力や子どもの実態を把握し、教育課程を教科等横断的な視点で組み立て、評価・改善しながら系統的・組織的に地域人の育成を図る。

- ◆総合的な探究の時間(質の高い探究)
- 地域協働型探究活動(地域人教育)
 - ・社会的な課題を仲間と協働し解決に向け取り組む
 - ・探究過程の高度化、探究の自律的な学び
 - ・科目「課題研究」、「探究の時間」等



＜探究活動＞
地域を学びのフィールドにした学習
「地域人教育」を展開。住民と一緒に地域の課題や魅力を発見し、解決と魅力発信をしている。



＜探究活動＞地域貢献
地域のために行動・貢献する
[地域素材の視点: ○●●●●]

- ◆総合的な学習の時間 特別活動(キャリア教育の要)
- 職場体験学習(事前事後学習)、福祉体験、キャリアフェス、起業体験、生徒会活動等

- 「小中連携・一貫教育」…H23年度スタート
 - ・義務教育9年間を見通した連続した学び
- 「飯田コミュニティスクール」…H29年度設置
 - ・地育力を活用した地域と保護者の力を結集

キャリア・パスポート

＜職場体験・総合学習＞地域参画
地域とつながり、関わる
[地域素材の視点: ○○○●●]

＜結いジュニアリーダー育成講座: 年7回＞
●市内9校13名で構成

- ◆生活科 総合的な学習の時間 特別活動(キャリア教育の要)
- ふるさと学習、宿泊体験活動、職場見学、児童会活動、環境学習等

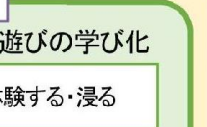


＜ふるさと学習＞体験の言語化
地域について学び、考え、伝える
[地域素材の視点: ○○○●●]



- ◆遊び ●動物飼育、作物栽培、自然保育

■園小連携推進委員会
＜遊び・生活科＞遊びの学び化
地域を散歩する・体験する・浸る
[地域素材の視点: ○○○○○]



知的好奇心「なぜ? どうして?」



地域・社会(地域をつなぐ)
《例》地域学習素材から発展する探究事例: ○蝶に興味(園)～○蝶の採集や生態(調べ学習)[小]～○農業体験(自然に携わる方との出会い)[中]～○環境問題の調査・提言[高] ～スパイラルに進行していく

※家庭や地域社会におけるキャリア教育とも連携していく

《例》地域学習素材から発展する探究事例: ○蝶に興味(園)～○蝶の採集や生態(調べ学習)[小]～○農業体験(自然に携わる方との出会い)[中]～○環境問題の調査・提言[高] ～スパイラルに進行していく

園・小・中・高が一貫した理念で飯田型キャリア教育を推進し、産学官が協働することで持続可能な社会づくりの担い手である人材育成につなげる。



各学校段階におけるキャリア教育推進の主なポイント (文部科学省・長野県教育委員会)

幼稚園 保育園 こども園
人格形成の基礎となる豊かな心情、物事に自分から関わろうとする意欲や健全な生活を営むために必要な態度等を養う

小学校
働くことの大切さの理解、興味関心の幅の拡大等、社会性、自主性自律性、関心意欲等を養う

中学校
社会における自らの役割や将来の生き方、働き方等を考えさせ、目標を立てて計画的に取り組む態度を育成し、進路の選択・決定に導く

高等学校
生涯にわたる多様なキャリア形成に共通して必要な能力や態度を育成し、これを通じて勤労観・職業観等の価値観を自ら形成・確立する

高等教育(大学・短大・専門学校)
学校から社会・職業への移行を見据えて、自らの視野を広げ、進路を具体化し、それまでに育成した社会的・職業的自立に必要な能力や態度を伸張・深化させる取組を教育課程の内外で充実

【事例⑤】飯田コアカレッジ

■IT ビジネス学科

・当地域に就職を希望する学生が多く、地域への理解を深めるために、「地域の活性化に向けて私たちができること」をテーマに、「丘の上魅力発信 MAP の作成」や「南信州アンテナショップ開催」による特産品 PR 等に取り組む、社会人基礎力を醸成。



【事例④】飯田女子高等学校

■「学校を売ろう！」(3年)

・「中学生に自分に合った高校を見つけてもらいたい」中学3年生の時に感じた進路選択の悩みを解決しようと、高校生が様々な困難を乗り越えて、学校を紹介するイベントを、22人の高校生実行委員とともに開催。



【事例②】龍江小学校

■龍江の竹とわたしたち～3年間の竹の学習から学んだこと～(6年)

・「放置竹林とは何か?」「どのような問題があるのか?」について調べ、放置竹林を有効活用する取組。
・4年生では水鉄砲や竹製品の製作。5年生では竹灯籠。6年生では竹製品を天龍峡マルシェで販売。地域の方と関わりながら、自分たちができる課題



解決を実践し、地域への思いを高める。

令和6年度 飯田のキャリア教育に関わる高校生意識調査の結果

- ・高校生対象の調査は H27 年度以降実施していなかったが、R4年度より飯田下伊那8高校の全校生徒対象に実施している。
(H27 は郡内高校の各学年1学級ずつを任意抽出調査)
- ・質問1については、飯田市独自の質問で、質問2, 3については、小・中学生対象に実施している全国学力・学習状況調査の質問項目を、高校生の発達段階に応じた内容にするために、市内高等学校長と検討して決定した。
- ・回答項目は県が行う高校生対象に実施する「学びの指標」に合わせて5つとした。
①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない ⑤回答できない・回答したくない
- ・回答時期:11・12月 対象:高校生全員〔飯田市出身者と飯田下伊那8校に分けて集計〕、市内小学6年、市内中学3年

問1 ふるさと(自分の生活している地域)に対して愛着を感じていますか

R6	①	②	③	④	⑤
飯田市	32.9	50.1	11.3	3.8	1.9
出身	83.0		15.1		1.9
郡内	31.7	50.7	11.6	4.1	1.9
8校	82.4		15.7		1.9

1-(1) 肯定的な回答(①+②)の経年変化

	R6	R5	R4	H27
飯田市出身	83.0	81.5	81.4	—
郡内8校	82.4	81.9	81.0	75.0
市中3	82.4	84.3	76.1	—
市小6	90.3	87.1	84.4	—

問2 地域(社会)をよりよくするために、地域課題の解決に関わりたいと思いますか

R6	①	②	③	④	⑤
飯田市	16.1	42.6	26.0	11.6	3.7
出身	58.7		37.6		3.7
郡内	15.5	43.6	25.4	11.7	3.8
8校	59.1		37.1		3.8

2-(1) 肯定的な回答(①+②)の経年変化

	R6	R5	R4
飯田市出身	58.7	62.2	62.0
郡内8校	59.1	63.1	62.4

※参考 R4年度高校1年生→R6年度高校3年生の変化

飯田市出身	R4 1年生	R6 3年生	
問1(①+②)	79.9	82.4	+2.5
問2(①+②)	62.8	60.6	-2.2
問3(①+②)	51.9	65.6	+13.7

問3 地域(社会)と自分のつながりや関係を意識しながら、自分の将来について考えることがありますか

R6	①	②	③	④	⑤
飯田市	18.2	39.5	26.7	12.0	3.6
出身	57.7		38.7		3.6
郡内	17.6	38.4	27.7	12.6	3.7
8校	56.0		40.3		3.7

3-(1) 肯定的な回答(①+②)の経年変化

	R6	R5	R4
飯田市出身	57.7	54.3	52.7
郡内8校	56.0	54.5	53.4

考察

- ・問1については、「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた肯定的な回答は、8割を超え、高い数値で推移している。これは、小・中学校において、地育力を活用した、地域の人・もの・ことに触れる学びを行ってきたことや、高校においても、様々な学習に地域の方が関わり、地域のよさを考える機会が増えてきたこともあるのではないかと考える。
- ・問2については、昨年度と比べると肯定的な回答が若干減っているが、半数以上の生徒が地域課題に関わりたいと回答している。探究的な時間等で地域課題に関わる内容については、生徒の必要感に応じて飯田市としても支援をしていきたい。
- ・問3については、5割以上の生徒が地域(社会)と自分とのつながりを意識して自分の将来について考えている。
- ・同じ生徒の経年変化を見ると(参考)、1年から3年になると、問1、問3の肯定的な数値が上がり、特に問3については、学年が上がるにつれ自分の将来を考えることは当然であるが、その中でも地域との繋がりを意識して考えていることが分かった。今後も生徒が地域を意識して考えていけるような支援を大切にしていきたい。

飯田のキャリア教育に関わるアンケート結果について

市内小・中学校の経年変化

＜飯田市独自の質問（調査時期 11～12 月）＞

問 1 ふるさと(自分の生活している地域)に対して愛着(好きな気持ち)を感じていますか

*「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合

	R6	R5	R4
市小6	90.3	87.1	84.4
市中3	82.4	84.3	76.1

考察

・地域に対して愛着(好きな気持ち)を感じている割合は、小学生9割、中学生は8割を超え、高い数値で推移している。これからも地域の資源を活用したり地域の人と関わったりする体験的な学びを進め、飯田市で大事にしているムトスの学びや探究的な学びにより、自分事として振り返りながら、ふるさとのよさを語ることができる人、ふるさとのために行動しようとする心を育みたい。

＜全国学力・学習状況調査の結果＞

問2 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか（R4 まで）

地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか（R5 より質問内容が変更）

*「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合

	R6	R5	R4	R3	R1
市小6	86.0	80.9	52.3	52.6	55.9
県/全国	85.6/83.5	81.2/76.8	56.5/51.3	57.1/52.4	57.0/54.5
市中3	77.5	70.8	39.0	48.4	40.0
県/全国	79.2/76.1	68.8/63.9	46.0/40.7	49.2/43.8	43.9/39.4

問3 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

*「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合

	R6	R5	R4	R3	R1
市小6	96.9	96.1	95.3	95.8	95.5
県/全国	96.3/95.9	96.2/95.9	95.6/95.1	95.9/95.5	95.3/95.2
市中3	93.9	95.6	94.9	96.5	95.0
県/全国	95.3/95.2	94.5/94.6	95.3/95.0	95.4/95.0	94.8/94.3

考察

・問2については、令和5年度から質問内容が変更されたが、令和6年度はさらに肯定的な回答が大きく伸びている。小学校は+5.1 ポイント(県は+4 ポイント)、中学校は+6.7 ポイント(県は+10.4 ポイント)

・新型コロナウイルス感染症が5類になり、総合的な学習の時間を中心に地育力を活用した体験的な学びや、地域課題について取り組む学びが各校で工夫して行われていることで、地域と関わる挑戦心や自己有用感が高まってきたと思われる。

・問3については、高い数値で推移しているので、引き続き様々な教育活動を通して育んでいく。

・児童生徒には役に立ちたいという気持ちがあるので、総合的な学習の時間や学校行事・生徒会、社会教育の場（公民館活動等）で役に立つ体験の場を設定したり、企画実践していく機会を提供したり、過程を認めてもらう経験をしたりすることで、さらに児童生徒が自己肯定感を高めていくことも期待したい。

令和6年度 中学校職場体験学習に関するアンケートのまとめ

飯田市教育委員会

※実施校：飯田市内9中学校全て

※アンケート回答数 136 事業所（依頼先事業所：193 事業所）

（業種別）

医療・介護・福祉施設	41/57	製造業（伝統工芸）	1/2
幼稚園・保育園	23/32	製造業（製袋・縫製・皮革）	1/1
理美容業	1/2	製造業（精密機械等）	13/15
建設工事業	5/7	自動車販売、整備	4/8
飲食業	3/5	官公庁	9/11
小売・販売業	13/17	教育機関	1/2
サービス業	9/11	旅館業	3/6
歯科医	1/1	報道機関	2/3
保険薬局	1/2	金融機関	1/1
製造業（食品等）	3/8	その他	1/1

Q1 飯田市教育委員会による、職場体験のための職場開拓支援策に関連してお伺いします。

A 教育委員会との連絡調整において、問題・課題に感じたことはありますか？

① 連絡の行き違いが多かった。	1	0.7%
② 特に問題はなかった。	133	97.8%
③ その他	2	1.5%

B 学校（教職員）との連絡調整において、問題・課題に感じたことはありますか？

① 連絡の行き違いが多かった。	3	2.2%
② 特に問題はなかった。	129	94.9%
③ その他	4	2.9%

Q2 貴社にとって、メリットと感ずることはどのようなことですか？（複数回答可）

項目	R 6		R 5	
① 子どもたちが当社の仕事に関心を持ってくれる。	121	89.0%	123	90.4%
② 未来の後継者・担い手が育つきっかけになる。	88	64.7%	90	66.2%
③ 従業員が刺激され、緊張感が出てくる。	44	32.4%	46	33.8%
④ 社内の雰囲気良くなる。	46	33.8%	30	22.1%
⑤ 従業員の家庭教育の見直しにつながる。	10	7.4%	9	6.6%
⑥ 最近の子どもたちの考え方に触れることができる。	92	67.6%	89	65.4%
⑦ CSR・地域貢献の取組として、地域や取引先からの信頼度が上がる。	42	30.9%	46	33.8%
⑧ メリットは感じない。	1	0.7%	0	0.0%
⑨ その他	5	3.7%	7	5.1%

Q3 よりよい体験学習のために、貴社が工夫されたことについてお答えください。（複数回答可）

工夫されたこと

項目	R 6		R 5	
① 体験学習の実施について社内への周知を図った。	100	73.5%	103	75.7%
② 受入れプログラムを作成した。	31	22.8%	41	30.1%
③ 生徒を朝礼や会議などに参加させた。	57	41.9%	52	38.2%
④ 生徒に自発的に考えさせる場面を与えた。	39	28.7%	47	34.6%
⑤ 会社概要・社内案内、安全確認等のオリエンテーションを実施した。	61	44.9%	59	43.4%
⑥ その他	8	5.9%	7	5.1%

Q4 職場見学や職場体験のご意見・ご要望がありましたらご記入ください。（抜粋）

- ・中学生からの最後のあいさつから、「働くということの考えが 180° 変わった。お金（利益）の為ではなく、人のため、未来のために働くという考えを知って、将来自分もそのような職に就きたいと思った。」「仕事は堅苦しいイメージがあったが、そうではなかった（楽しく働いている雰囲気が伝わった）。将来は自分の好きなことを仕事にして頑張りたい。」
- ・おとなしい印象の生徒さんが、7メートルのロープを登る体験で、あきらめない姿を見せ、最後まで登り切ったことが印象的でした。
- ・生徒さん自身が保育園時代のことを振り返る機会にもなったようです。卒園児が参加して成長した姿を見せてくれるのが嬉しいです。
- ・体験学習終了後にお礼の手紙が来るが、毎回読むことを楽しみにしています。手紙とは別に、研修終了後に生徒さんが、テーブルに自前のメッセージを置いて行ってくれることが数回ありました。受け入れをして、良かったと思う瞬間です。また、生徒さんも、体験に満足し、ここに来て良かったと思っていただけてうれしく思います。
- ・「楽しかった」と感想を聞けたことがなによりです。介護の仕事は大変というイメージがあり、実際には大変であることには間違いありませんが、そういったなかでもやりがいもあり、楽しめるといふ部分を少しでも感じていただけたのであれば成功だったと思います。
- ・企業側も、働くことの大変さや楽しさややりがいを感じられる体験になるよう、受入れを工夫することが体切だと感じます。（将来の展望をもつきっかけとなるような…）
- ・生徒様から会社へ電話をかけて連絡をとるのは社会勉強として有効であると感じますが、重要な伝達事項が必要な場合、不慣れな生徒様へ確実に伝わったかどうか不安感もあります。特に重要な伝達事項については学校側とのメール、文書でのやりとりがあるとよいと感じました。
- ・ある中学校からは生徒からの連絡は省きますという事でしたが、受け入れ側としてもそれでも良いと思いました。

※12月9日（月）第2回職場担当者会で話題になったこと

- ・今年度より、のぼり旗の配布や返却を学校ではなく、教育委員会が行うことにしたので学校や事業所の負担が減ってよかった。
- ・重要な伝達事項についてはメールでのやり取りも活用する。（事務局でメールアドレス一覧表作成へ）生徒による事業所への電話連絡は形骸化されたことであればやめていき、付けたい力を明確にして実施していく。

令和6年度 キャリア教育に係る中学校体験活動一覧

学校名	実施内容	実施学年	体験期間	体験人数	参加事業所数等	備考
飯田東	繋・未来フェス	全校	5/29 (水)	197	21ブース	S Y M S本店支部、橋北支部を中心に丘の上にある企業様の協力を得て実施。本校では3年間かけてさまざまな企業のお話を聞くことで、将来についての見通しをもてるようにしていく。
	職場体験学習	2 学年	6/26,27	57	33事業所	指示されたことなどに、誠実にしっかりと取り組むことができた。学校では学べない体験をすることができた。
	福祉体験学習	3 学年	6/26,27	64	32事業所	感染症拡大予防のため、体験が中止になった事業所もあったが、どの事業所でも生徒が前向きに体験に取り組むことができた。
飯田西	職場体験	2 年	7月22日(月)～24日(水)	60	37	各自目標や課題を持ち、職場体験を行うことが出来た。体験の中で、職場の方にインタビューをし、働くことについて考えを深めることが出来た。
緑ヶ丘	結い未来プロジェクト	2 学年	7月18日	233	30事業所 (ブース)	例年通り、公民館(松尾、竜丘、下久堅)の主事に協力をいただき、参加事業所を決定した。また、飯田信用金庫さんの関連組織『シームス』さんご紹介で参加くださった事業所もあった。昨年度はコロナ禍明け直後ということから7事業所の講演形式をとった。今年度はコロナ前のアース形式を復活。実行委員と事業所とのタフの打ち合わせを省くなどスマート化を図ったことで、生徒による主体的な活動にはなりにくかったが、前年度に比べ、生徒が聞きに行きたい事業所の話を聞いたり、体験をしたることができる。参加事業所との連絡等、係職員の負担が大きな課題。
						コロナ禍が明けたとはいえ、感染症予防の観点から、飲食店や医療、保育、介護などの事業所の受入数減少が予想されたため、昨年度までの3日間から2日間に変更した。事業所取りまとめを市に行っていただけことは大変ありがたい。2日間開催は、事業所からはおおむね好評。
	職場体験学習	2 学年	11月5日～6日	230	97事業所	ふるさと学習を開始するにあたり、生徒が飯田市の魅力や課題を発見するために、飯田市の産業や文化に携わる事業所の方に短時間の講演をしていただいた。生徒たちが飯田市を極観することができ、ふるさと学習への良い足掛かりとなった。一事業所につき、講演時間が15分と大変短かったため、お断りされる事業所もあったが、生徒たちには15分という時間がちょうどよかったと思う。(参加事業所：伊藤製菓、南信州リゾート、飯田市工業課、飯田市歴史研究所、市リニア推進課、市農業課、人形劇フェスタ実行委員会、信州セキユアーズ)
	ふるさとと学習	1 学年	9月12日 9月13日 9月17日	200	9事業所	各学級のテーマや題材に沿って、事前に調べ学習等を重ねながら、当日は現地で活動をしたり、講師をお招きしての体験学習を行ったりした。(テーマ：水引、和菓子、飯田市動物園、リニア、焼肉) 実際に関係事業所に訪れたり、お話を伺う機会を通して、その先の活動方針が明確になったり、各クラスのテーマがより身近に感じられるようになった。郡音と同じ日に開催だったため、電車が混んでしまい、一般客の方にご迷惑をおかけしてしまったように思う。
						ふるさととの「ひと・もの・こと」を生かした学習を通年で行っている。「ふるさと竜東の集い」で地域の方や保護者から作成したパンフレットや発表に対して意見をいただいた。今後、地域の人や市内の企業など協力をお願いしながら活動を進めていく予定。
竜東	職場体験学習	2 年	7/10～12	19	17	基本的に、生徒一人につき、一職場で、体験活動を行った。
	ふるさと巡り	1 年	5月29日	27	1	各職場で生徒が一生涯命やっていたとお婆めの言葉をいただいた。一人で行うことにも価値があると感じた。
						今年度は、マイクロバスを出していただいて、半日で地域巡りを行った。
	職場見学・体験活動	1 年	7月10日	27	3	(上久堅地区、千代地区、千栄地区を回った)
	福祉体験	3 年	7/10、11	21		職場見学、体験活動を中心に市内3つの企業を巡り、活動を行った。 (アースグリーンマネジメント、飯田短大、木下水引)
竜峽	福祉体験	3 年	7/3 (水)、7/4 (木)	51	26施設	車椅子体験、向かいのLサポートとの花壇交流と講演会を行った。
	職場体験	2 年	7/3 (水)、7/4 (木)、7/5	49	29事業所	福祉関連施設における仕事に携わり、利用者・職員の方々と関わることを通して、福祉関連施設の仕事を学び、働くことへの見通しをもつことができる。
						3日間、市内の事業所へ訪問し働くことで、職業について具体的に考えたり、自己理解を促したりすることを通して、路実現への見通しをもつことができる。
	地域フォーラム	1 年	11/26 (火)	40		導入は、「生徒の意識調査」[地域住民のアンケート結果]から、「竜峽地区の魅力」「竜峽地区に住んでいて良かったと思うこと」「現在の竜峽地区の課題だと思うこと」についてプレゼンをし、これらの課題を解決するために、中学生がどのように行動できるかを提案しました。グループでは、いくつかのテーマについて意見交換をしました。当日参加された地域の皆様、保護者の皆様にもグループに入っていたいただき、ご意見をいただきました。
	地域をもっと知る会	全校	12/18 (水) 予定	142	講師 7 名	地域で特色あるユニークな活動を行っている方をお呼びして、全校生徒がブースに分かれて地域の活動を体験することを通して、地域への関心をさらに高めたり知識を深めたりして、これまでに全校が地域とかわる機会をもととする雰囲気をつくくる。

令和6年度 キャリア教育に係る中学校体験活動一覧

学校名	実施内容	実施学年	体験期間	体験人数	参加事業所数等	備考
旭ヶ丘	平和学習	3 年	11月22日	163		満蒙開拓平和記念館の三沢重紀先生に学校にお越しいただき2時間の講演をお聞きした。満蒙開拓の歴史についての生徒の問いに迫る話をしていた。今年度は、修学旅行の実施を10月に行ったため、生徒の追完に十分な時間をかけることができなかったが、三沢さんの話から自分の考えを深めていく姿が見られた。
	福祉体験	3 年	11月28日	163		点字、要約筆記、認知症サポーター、高齢者疑似体験、多文化理解、手話の6講座から生徒が学びたい講座を選び体験した。体験したことから、「豊かに生きるとは」という総合の追究のテーマに自分なりの考えをまとめることができた。
	職業講話	2 年	8月29日	172	8事業所	公民館主事の協力を得ながら、学区内の事業所を中心に8つの事業所の方から「何のために働くのか」という話をしていた。実際、実際に働いている大人から話を聞くことで職場体験学習に向けて、自分の考えを深めることができた。
	職場体験	2 年	11月16日・17日	172	89事業所	1年3学期から一貫した「何のために働くのか」という考えを確かめに行くために職場体験学習を位置づけたことにより、ただ体験して終わるのではなく、自分の考えが変化したり、深まったりする生徒が多かった。
	ふるさと学習	1 年	11月16日・17日	184		自然、伝統文化、環境モデル都市、災害防災、農業産業、食文化、歴史、観光の8つの講座の中から興味のある講座を選び、調べ学習や体験学習を通して、飯田市の魅力や課題を知る学習をした。さらにそこから、飯田市のよりよい未来のために自分たちができることや飯田市への要望を考えることができた。
	職業出前講座	1 年	10月29日 (火)	107	12	鼎地区の企業や会社、お店等、地域で頑張っている方々を学校に招き、お話を聞いたり質問をしたりする機会を設けた。生徒は1ヶ所に10人くらいになるように希望をとり、前半と後半の2回で行った。今年で4年目の行事となった。今後も続けて行きたい。
	マナー講座	2年	6月下旬	105	1	職場体験学習を行うにあたり、生徒の働くことへの意識を高めたいと考えた。また、普段なれ合いで接している友達同士とは違う、人との接触の仕方やマナーを学んでほしいという願いからマナー講座を開きたいと考えたところ、教育委員会の片桐先生のご紹介で、綿井ソリューションズの人事ユニットから中山さんに来ていただき話を伺えた。生徒達は職場体験学習に生かせるようなことをしっかりとメモをとりながら聞けていて良かった。
	職場体験学習	2年	7月2, 3, 4 日	105	46	4月後半から職場体験場所の希望アンケートを取り始め、5月下旬までに決定を目指した。1人あたり6つまで希望を出してもらい、第1希望とが第2希望とがそれぞれ、6つまでの希望の中で周りの人数を調整しながら場所の決定を行った。3日間しっかりと学習を行えた生徒が多かった。
	地域発掘プロジェクト	2年	10月29日 (火)	105	?	ふるさと学習の一貫として、1学期後半から各クラスで飯田下伊那郡地方の観光場所や見所を調べ、各クラスの各グループで1日観光コースを決定し、クラス内でプレゼンを行い、1番人気のあるコースを決めて、1日かけてクラスで観光するという企画がある。今年で4年目にはいる活動である。コロナ禍で始まった行事でもある。当日は各クラスとも、自分たちで決めた場所にやって思いっきり楽しむことができた。終わった後は、校長講話の時間をお借りし、全校に発表することができた。地域の魅力を発信することができて良い活動となった。
	福祉体験学習	3年	7月4日 (木)	102	5	社会福祉協議会から館旋してもらい、車いすや高齢者体験、点字、手話等の体験学習を行った。3年生の生徒を5ヶ所に分けて、それぞれお話を聞いてから体験に入った。普段感じることがないような不便さを体験しながら、そういう中で生活をしていく人たちに心を寄り添うことができた。
高陵	平和学習	3年	12月9日、16日	102	1	平和学習の一貫で、満蒙開拓団について映画「望郷の鐘」を見たり事前学習をしたりしてから、阿智の満蒙開拓平和記念館に出かけて、三澤さんのお話や語り部の方の映像から、さらに詳しい内容を学習した。また、展示物をガイドの方からの説明で興味深く見学することができた。
	職場体験学習	2年	8月21日(水)～23日(金)	170	69	飯田市のリストを元に、生徒に希望を取ったり、学年職員が事前連絡をしたりして事業所を決定した。体験の日程や持ち物などは、担当生徒が直接電話連絡で確認して当日を迎えた。外部の方をお招きしてマナー講座を実施したが、学んだことを意識して臨めている様子だったので、事前指導は大切だと感じた。
	キャリアアフェス (キラリ☆ハタラキビト)	1,2年+小6	11月1日(金)	505	39	飯田下伊那にある企業に来ていただき、職業の説明や体験を実施した。例年と異なり、小学6年生も行事に参加した(中2は午前3講座、中1は終日5講座、小6は午後2講座)。参加企業については、公民館にも協力いただきながら、主に中学校の担当職員が呼びかけ、賛同してくださった企業に来ていただいているが、参加企業集めが大変。準備や当日の運営は、生徒の中から選ばれた実行委員や各講座のリーダーが中心となって進められた。
	「結 未来プロジェクト」	全学年	7/22(木)	19	不明	緑ヶ丘中学校で開催された「結 未来プロジェクト」(企業説明)へ参加。各自選んだ3つの企業・事業所のお話を聞き、将来の進路選択の参考となった。
遠山	職場体験学習	2年	7/24(水)～26(金)	9	8	遠山地区を離れ飯田市街地へ外出き、様々な職場で体験活動を行った。多くの働く大人とのかかわりによって、働くことの意味や大変さを感じ取ることができた。来年度以降の実施の方向性について検討中。
	福祉体験学習	3年	7/5(金)、8/27(火)	7	3	第一回は、飯田市社協の協力のもと、校内で車いす体験などを行った。第二回は、遠山地区内のデイサービス・特養で、利用者との交流や軽作業などを通して、福祉に対する考えや理解を深めることができた。
	地域の方に学ぶ会	全学年	11/1(金)	21	3	農業・林業・地域食の3つの講座に分かれ、地域の方とともに活動を行った。地域に根差した産業について理解を深めることができた。

飯田市主催事業

1 飯田女子高校 「総合社会」

対象：2学年「総合社会」を選択している学生 約30人

概要：2学年の選択授業「総合社会」において、高校生が地元の企業や産業を知り、将来の職業選択の視野を広げることを目的として、地域で働く様々な業界の方からの講義を実施。

開催日・参加事業所

6月3日(月)	シルクホテル中田製絲(株)	9月30日(月)	綿半パートナーズ(株)
6月10日(月)	(株)丸治しもだいら	10月7日(月)	(株)丸治しもだいら
7月1日(月)	杉本印刷(株)	10月21日(月)	杉本印刷(株)
9月9日(月)	みなみ信州農業協同組合	11月18日(月)	(株)エフプラス



2 阿南高校「校内企業説明会」

概要：就職のミスマッチを無くすため、本格的に就活をはじめる前の高校2年生が各産業分野の理解を深めることを目的として、校内企業説明会を実施。企業が高校に集まりブースを構え、高校生は興味のある事業所を2つ選択して聴講した。

① 2学年全員対象 参加学生：40人

日時：7月18日(木) 13時30分～14時40分

参加事業所：8事業所

(株)キラヤ、柴田科学(株)飯田工場、
シルクホテル、信菱電機(株)、みなみ信州農協、
TDKエレクトロニクスファクトリーズ(株)、金本建設(株)、
(株)トヨタUグループ

② 2学年就職希望者対象 参加学生：22人

日時：11月7日(木) 13時30分～14時40分

参加事業所：5事業所

(株)浜島精機、NTPトヨタ信州(株)、
(株)ミナミ、みなみ信州農協、
(株)サンリエ

3 飯田風越高校「職業学習」(職業ガイダンス)

対象：1・2年生 約400人 日時：12月9日(月) 14時25分～16時15分

概要：進学後の地元就職に対する関心を高めることを目的に、地域内11事業所による、17の職種・業種のガイダンスを実施。全体講義では地域の雇用状況と就職に向けた心構えについてハローワークの方の講義を受け、その後、学生は2つの職業分野を選択し、分野別の講義を受講した。



参加事業所：11事業所

シルクホテル中田製絲(株)、みなみ信州農業協同組合、神稲建設(株)、
長姫調査設計(株)、綿半ホームエイド・綿半ソリューションズ、旭松食
品(株)、化成工業(株)、KOA(株)、健和会病院、飯田市社会福祉協議会、
山本保育園・鼎みつば保育園、飯田広域消防本部、飯田市役所

※健和会病院は「看護師」「薬剤師」「リハビリ」「栄養士」「臨床工学技士」が参加

4 新社会人育成講座

対象：就職予定の高校3年生 定員：40人

開催日時：2月4日(火)、2月7日(金)、2月14日(金)、2月15日(土)

各日 8時30分～16時30分

概要：地元企業への就職を予定している高校3年生が、社会人としての心構えを育み、マナーを身に付けるための連続4回の講座を実施。学生が就職への不安を解消し、自信をもって社会人生活をスタートできるよう、仕事の進め方、コミュニケーションスキル、ビジネスマナーなどを学びます。



1 高校3年生対象事業所説明会

対象：飯田下伊那の高校3年生 日時：6月4日（火）9時45分～11時45分、13時30分～15時30分

概要：高校生3年生が就職前に地元企業に対する理解を深める事を目的としてガイダンス事業を実施。参加企業がブースを構え学生に企業の概要について説明した。1クール20分間の5クール制で行い、第1～2クールは学生の希望に沿って予め割り振られた企業の話の聞き、第3～5クールはフリータイムとした。

参加事業所：80事業所 会場：エス・バード

参加学生：239人

A.M. 飯田 OIDE 長姫高校：101人、下伊那農業高校：42人、

P.M. 阿智高校24人、阿南高校：18人、松川高校：26人、

飯田女子高校：23人、風越高校：2人、駒ヶ根工業：3人



2 高校2年生対象 事業所説明会

対象：飯田下伊那の高校2年生 日時：12月2日（月）10時30分～12時00分、13時30分～15時00分

概要：高校生が地元企業や地域産業に対する理解を深める事を目的としてガイダンス事業を実施。参加企業がブースを構え学生に企業の魅力を伝えた。3クール制で行い、第1・第2クールは学生の希望に沿って予め割り振られた企業の話の聞き、第3クールはフリータイムとした。

参加事業所：84事業所 会場：エス・バード

参加学生：382人

A.M. 飯田 OIDE 長姫高校：243人、

P.M. 下伊那農業高校：44人、阿智高校22人、阿南高校：22人、

松川高校：30人、飯田女子高校：19人、風越高校：2人



3 飯田OIDE長姫高校 事業所説明会 事前学習会

対象：2年生

概要：学生が説明会で話を聞くブースを選択するにあたり、地域内の企業に対する知識を広げることを目的として、事前学習会を実施。事業所説明会に参加を予定している企業15社が事前に高校に訪問し、短時間（1社8分）の企業説明を行った。

第1回 対象：機械工学科、電子機械工学科、 電気電子工学科 約120人 日時：9月12日（木） 14時30分～15時20分 参加事業所：5事業所 ニデックモビリティ(株) 三洋工具(株) 中菱テクニカ(株) エヌ・エス・エス(株) 協和精工(株)	第2回 対象：社会基盤工学科、建築学科 約80人 日時：10月31日（木） 14時30分～15時20分 参加事業所：5事業所 北沢建設(株) (一社)パブリックサービス (株)全日警サービス長野 (有)代田工業 宮下製氷(株)	第3回 対象：商業科 約80人 日時：11月21日（木） 14時30分～15時20分 参加事業所：5事業所 綿半パートナーズ ロジカランド(株) リンクステック YGA(株) 飯田精密(株) (株)ジョイフル・テン
--	--	--

令和6年度 飯田市キャリア教育推進フォーラム アンケートのまとめ

期日：令和6年2月8日（土）13：00～16：00

会場：飯田市鼎文化センター

参加者：272名（R5:228名 R4:209名）

事前申し込み210名（R5:193名 R4:197名）

その内参加者192名（R5:175名 R4:175名）

当日参加者 80名（R5:53名 R4:33名）

I 参加者272名（R5:228名）内訳（行政機関には事務局、市議会、委員等含める）（ ）はR5年度

園児	小学生	中学生	高校生	学生	園学校職	PTA・家族	産業界	行政機関	地域の方	その他
1(1)	9(12)	26(27)	7(4)	4(4)	87(71)	47(35)	15(11)	60(48)	11(9)	5(6)

II アンケート回答者64名（R5:81名）内訳

小学生	中学生	高校生	学生	園学校職員	PTA・家族	産業界	行政機関	地域の方	その他
0(5)	7(14)	2(1)	0(4)	34(30)	3(6)	2(2)	9(8)	4(9)	3(2)

III フォーラムの満足度

質問：飯田市では、私と地域の未来を切りひらいていく「地育力」を活用した「飯田のキャリア教育」（パンフレット裏面参照）を進めていますが、本日のフォーラムはいかがでしたか。

①満足	②おおむね満足	③やや不満	④不満	⑤その他	印なし	回答数
45(56)	15(20)	1(1)	0(0)	0(0)	3(4)	64(81)

IV 感想やご意見（抜粋）

1 第I部 幼児期から高等教育期までのキャリア教育の実践発表について

- ・上久堅小での150周年での活動でお祝いをするときに、地域の方たちの参加による小学校の歴史を知ることや地域の方たちとのつながりの場にもして良いと思った。西中の発表を聞いてよかったのと、今日の発表会は意見などの交換ができていいと思ったのと、実際の発表で学んだことのスライドがあり分かりやすかった。（中学生）
- ・飯田の学校で他の学校がどんな活動をしているのか知らなかったけれど、発表を聞いて知ることができました。どの活動も人とのつながりを感じて、飯田の人はとても地域の人と、そしてそこに住む環境をととても大切にしていると思いました。（高校生）
- ・願いと思いをもち、人と関わって活動をつくっていくこと、そこには楽しさが、笑顔がつくられていくことも改めて教えられました。今、中学校で勤務しています。活動の大切さは分かっているけどその時間をつくることへの難しさがあります。ただ、今日の各学校の実践発表を聞いて、“時間のなさ”を理由にするのではなく、学校を開いて地域と共にある学校をつくっていくことの大切さと必要性を強く感じさせられました。発表された皆さんのうそのない活きた笑顔が本当にすてきでした。（園・学校職員）
- ・地域の問題を考えて、地域の人たちと一緒に取り組む姿に頼もしさを感じました。幼、保、小、中、高、大と地域のつながりを大切にしながら地育力を高めていけば飯田の底力の上がっていくと感じました。地域も元気！こどもも元気！を持って行きたいと思います。（園・学校職員）
- ・自ら問いを立てて、地域の中で学びを広げ、生き方を学ぶ良い活動がたくさんあることが分かった。下農の取組は、生徒自らが動き、考え、多くの体験ができており、深い学びが多く、素晴らしい取組だと感じた。（PTA・保護者）
- ・幼児から高等教育期までの各々の成長（発達）段階におけるユニークで独創的な発表でとても良かったと感じます。人と繋がり、繋がりを紡いでいくことが、子供たちの人生を豊かなものにする土台（ベース）となると感じています。官学民が連携しながら、未来をひらく子どもたちを育ていく。飯田市のキャリア教育は素敵だと思います。（行政機関）
- ・人生を振り返った時、若い頃からのこういった心に残ること、記憶に残っていることが豊富なほど、自分自身を育てくれていることをはっきりと想うものです。人と人とのつながり、心と心のつながりが、ずっと宝物であり続けます。（地域の方）

- ・地域という豊かな資源(人・モノ・コト)と関わり、「社会との関わり方」を学び、自分を見つめ、成長している姿が想像できるすてきな発表でした。私は、県外から移住してきましたが、この地域は本当にサポーターの多い恵まれた地域です。いずれはそのサポーターも減っていくはずなので、できるときに精一杯学ばせてもらってくださいね。(その他)

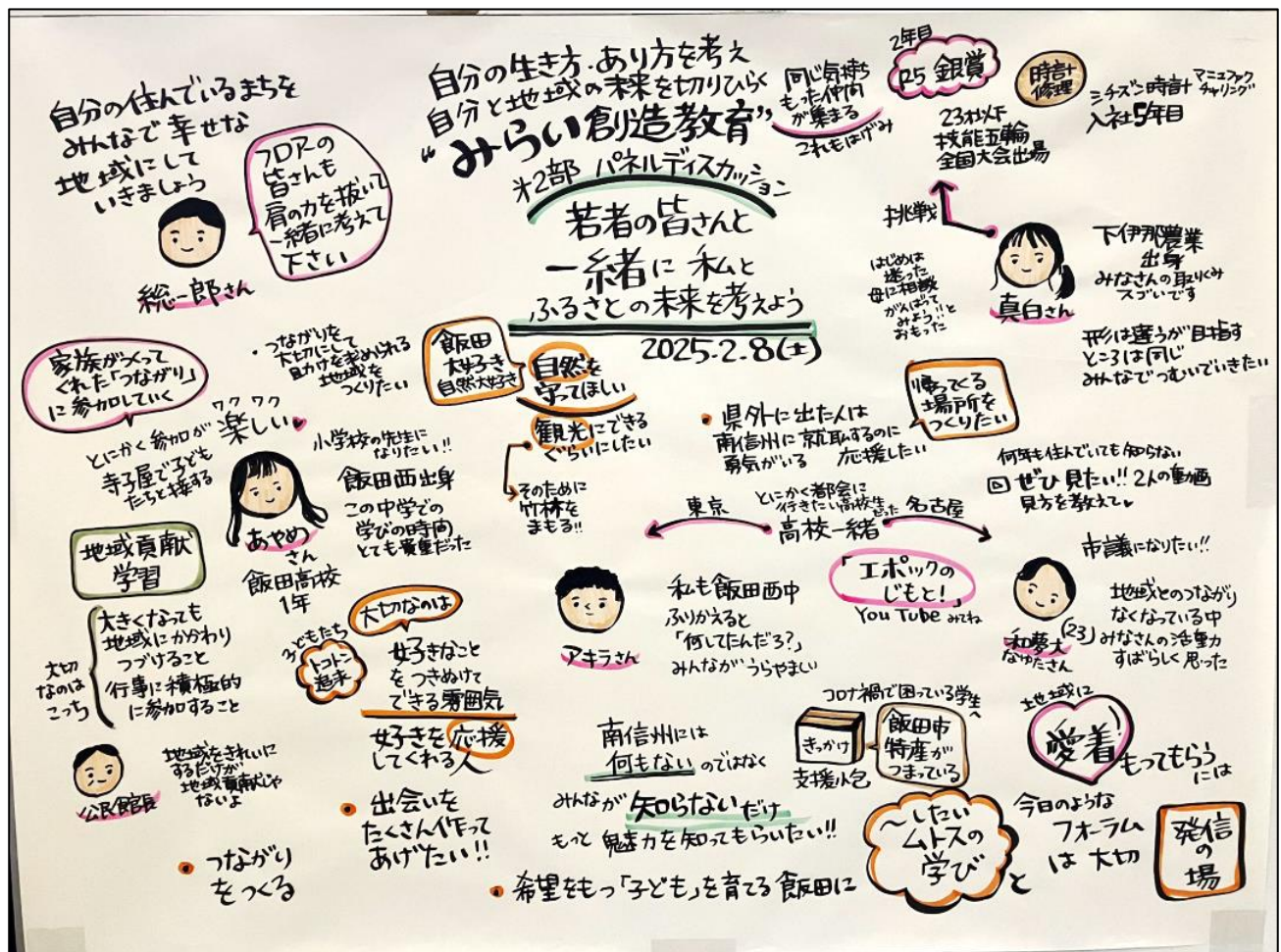
2 第Ⅱ部 パネルディスカッション テーマ：若者の皆さんと一緒に、私とふるさとの未来を考えよう

- ・飯田の未来について、考えることができました。今まで飯田って田舎だからもっと都会っぽくなったらいいじゃんって思っていたけど、Ⅰ部とⅡ部を通して、飯田の魅力である、自然などそういうところを強めていければ私たちの目指す飯田の未来につながるのではないのかなと思いました。(高校生)
- ・地域を大切に思う、若い方々の思いに触れ、YouTuberのお二人に関わっては、外に出たいと思い、出たからこそ今があり、地域に残りたいと考える子どもたちを育てるのではなく、どの地域で生活をして、その心の基盤が地域にある、そんな地域づくりをしていきたいと改めて実感できました。企業誘致もですが、元気のある地域づくりをしているのは、今、大人をやっている自分たちの役目だと思いました。世界のどこで過ごしていても、地域と世界を繋げるのが今の時代のスゴイところなので。(園・学校職員)
- ・今の現状では、都心と田舎を比較し、良いものを求め外に外に出ようとする世の中ですが、今回のパネルディスカッションに参加されている方は、一歩立ち止まって自分から進んで動いているのが素晴らしいなと思いました。夢や希望をもって取り組む力は無限大だなとも感じました。このように立場が違う方と話す機会は自分とは違う価値観や学びが得られるので、自分の学校の子どもたちにも体験させてあげたいと感じました。(園・学校職員)
- ・飯田市のキャリア教育が、飯田の地域を作る元になっているということを感じさせるディスカッションで有意義だった。(PTA・保護者)
- ・がんばっている若者の話が聞けてとても良い機会でした。やりたいことに挑戦でき、周囲が応援してくれる。そんな地域になったらいいと思いました。今までの常識にとらわれずいろんな世代の人が同じ目的に向かって活動できたらいいなと思います。(産業界)
- ・高校生の牧内さんが口にした「年をとった時に助けを求められる地域」という考え方、地域の活動に関わり続けたいという素晴らしい人間力にただただ感激しました。身近な人や物程当たり前という感覚に陥りやすいものだと思っています。人との繋がりや交流から沢山の飯田の魅力を知る機会を伝播させ、「飯田が好き」と一人でも多くの人が思う社会になったらいいなと思います(行政機関)。
- ・この地域にも高い技術を持ったり、地域の魅力を発信されたり地域に参画する若い方がいらつしゃると知れて感動しました。(行政機関)
- ・ファシリテーターさん、素晴らしかったです。パネラーの方の想いの引き出し方、フロアーの意見、考えも聞いてくださるタイムも大切にしてくれて良かったです。飯田市がますますみんなの“ふるさと”として魅力ある地域であり続けられるよう努めていきたいと思います。(地域の方)

3 その他、全体を通してお気づきの点がありましたらお書きください。

- ・感想伝え合いタイムでイラストを描いているんな所をうつしたり、休憩に YouTube を流してくれたり全ての時間楽しめました！準備等大変だったと思いますがありがとうございました！可視化したイラストわかりやすくてかわいかったです！！(園・学校職員)
- ・ジュニアリーダーの皆様、お疲れ様でした会場から感想を伝える際に、まんべんなく挙手されている方に言ってもらえるよう、マイク係の方が連携を取りながら移動して渡している姿が印象的でした。(園・学校職員)
- ・実践発表の内容について、おそらくこれは、総合学習の中の発表内容だったと思います。「やったこと」「できたこと」だけでなく、不安に思ったこと、うまくいなくて苦労したこと。それをどのように乗り越えたか、子ども達の試行錯誤やその活動を通してどんな力が育ったか、何を得たのか、もっともっと聞いてみたいなと思いました。子ども達が発表に対して、進んで感想を述べており(こんなに大きな場なのに！)すごいなと思いました。今日は来てよかったです。ありがとうございました。(その他)

《全体考察》 年々フォーラムへの参加者増えていき、様々な年代や業種の方々と飯田のキャリア教育への理解が深まったように感じる。令和7年度からは飯田学園構想により「みらい創造教育(飯田のキャリア教育)」と改称していくが、今までの深まりを整理しながら、「ムトスの学び」をキーワードにより広げていきたい。



子どもと親が共に育ち合う家庭共育 わが家の結いタイム

～ 家族のふれあいのために～

家庭は全ての教育の出発点です。子どもにとって「家庭」は安らぎのある楽しい場所であり、社会へ巣立っていくために欠かせない場所です。

飯田市では家族のふれあいのひと時を「わが家の結いタイム」と名付け推進しています。まずは、「あいさつ」「会話」「お手伝い」「読書」の身近な4つの取組みから始めてみませんか。

あいさつ

あいさつは人と人とのより良い関係を作るための第一歩です。

“おはよう” “いただきます” “ありがとう” “ごめんなさい” まずは家族の中で自分からあいさつする習慣をつけましょう。

会 話

メールやケータイ・スマホばかりではなく、お互いの顔を見ながら心と心、言葉と言葉で会話をしましょう。食事の時間、入浴の時間、送迎の車の中で、親子のふれあいのひと時を楽しみましょう。

地域



家庭

学校

企業

お手伝い

食事の準備や片づけ、掃除などのやり方を親から子に伝える時間は、そのまま家族のふれあいの時間になります。「お手伝いありがとう」の感謝の気持ちを伝えることも大切です。

読 書

家族で同じ本を読んだり、読んだ本を紹介し合ったり、料理の本などを読んで一緒に作ったり、家族で一緒に図書館や書店に行くこともおすすめです。

行政

各ご家庭で、できることから始めてみましょう！

他のご家庭の取組
(三行詩コンクール入選作品)



イベント情報はこちら
(結いナビHDA)



コンクール入選作品

どの作品も情景が
浮かんでくるような
ステキな三行詩です
心がほっこりしたり、
胸がじーんとしたり…
ゆつくりとご覧ください



特選作品

園児の部

わたしはおかあさん
りっくんはおとうさんにだっこで
えほんをよむの
それがいちばんうれしいじかん
羽場こども未来園 年中 市瀬 碧心

小学校低学年の部

「本よんであげるよ」
もうよめるのに
だけどもよんで。
丸山小 2年 近藤 ゆい

小学校高学年の部

おふろのふたをしめるのはぼくの仕事
帰りがおそいお父さんが
あったかいおふろに入れるように、
しっかりふたをしめてます
松尾小 4年 矢澤 晴大

中学校の部

「家族が好きな訳を教えてください。」
えっ
理由なんてある訳ないじゃん!!
緑ヶ丘中 3年 橋爪 双葉

一般の部

給食着のアイロンをかけながら
また1週間頑張つてね。
と心で願う 日曜日
野崎 美菜

入選作品

園児の部

きょうままによる
だっしでもらいました。
あとばばもだっししてくれました。
うれしくてわらいました。
風越こども未来園 年長 熊谷 好誠

小学校低学年の部

おかあさんにギュッ
わたしの大事な充電器
松尾小 3年 小林 かれん

小学校高学年の部

もう小学生だけど
パパのだこがすき
ママのぎゅっ!! がすき
だからいもうとといっしょで
あまえた
丸山小 2年 上原 愛絆 未

小学校低学年の部

ママがてつだつてていう
パパがぼくをよぶ
ぼくはみんなのおたすけヒーロー
龍江小 1年 林 朗穂

小学校高学年の部

朝読書はつくえの上で
夜読書はふとんの上で
家族5人の読書タイム
「電気消すよ」
本ともおやすみ
龍江小 4年 及川 実宗

小学校低学年の部

お母さんのごはん日本一
みんなで食べると世界一
「おかわり!」という声宇宙一
松尾小 6年 山崎 透季

小学校高学年の部

おぼんの日。なくなった父が
帰ってきた。家族四人そろって
うれしかった。
川路小 4年 佐藤 明莉

園児の部

「ありがたう」そのたうた言が言えない
いつもサンキューと言つて誤魔化す
今度こそ伝えたい「ありがたう」を
いつもありがたう
お母さんとおばあちゃん
遠山中 2年 小澤 未枝

小学校低学年の部

母の機嫌
なぜかおれだけ
なんとなく分かる
緑ヶ丘中 2年 小林 皓翔

小学校高学年の部

それぞれちがう本を読む
いつのまにか集まている
示しあわせてないのに
静かで優しい好きな時間
緑ヶ丘中 2年 齊藤 涼那

小学校低学年の部

ちよつとのお手伝いが
すてきな実はいんだよ。
今日は何をしてくれる?
そんな「少し」が幸せです。
磯田 由美子

小学校高学年の部

兄弟二人の背比べ
いつのまにやら
家族みんなで背比べ
佐藤 香織

小学校低学年の部

週末で習いごとに行く娘に
周りは「大変だね」と言うけれど
実はママは楽しいんだよ
だつて車のなかで娘と
ナイショのおしゃべりできるから
吉森 千尋

小学校高学年の部

夏に夜にそうめんを食べた
ズルズルズル
あつ 同時だつた
おもしろいね
丸山小 5年 竹内 結穂

佳作作品

園児の部

ぼくのてつくりたまごやき
やすみのあさは
ぼくがつくるぞ
勸使河原学園 年長 田中 善治

小学校低学年の部

ひいばあちゃん
なになててるの?
と大きな声で
中村保育園 未満 谷口 いちか

小学校高学年の部

ばあばといもうれしい。
かあさんといもうれしい。
いっしょにいこうとしたの。
おにいちゃんといっしょに。
あそぶと楽しい。
とん中はちがうけど。
じいばあさんといっしょに。
松尾小 1年 熊谷 和心

小学校低学年の部

つらいとき、かなしいとき
家族に話せば
心もほかほか
丸山小 3年 熊谷 詩歩

小学校高学年の部

日曜日はババカレー
ぼくのだいごうぶつ
とくべつのおじ
千代小 2年 櫻井 友晴

小学校低学年の部

じぶんはおてつだい
きらいだけど
やたらかそくがにこりで
じぶんにもにこり。
松尾小 2年 阿部 樹来

小学校高学年の部

行ってきました
ママのタッチで
元気です
千栄小 3年 林 愛良

園児の部

わが家では
昔の写真を振り返る
みんなニコニコ
ときどき大爆笑
この時間が
ずっと続きますように
上郷小 5年 水野 結月

小学校低学年の部

家族のね
「だいたいの声で
今日がどんな一日だったか
わかっちゃう
電丘小 5年 岡本 和心

小学校高学年の部

お手伝い
終わった後には
あついばく
千栄小 6年 高橋 遼多

小学校低学年の部

豆まきに
年の数だけ 豆食べられて
もつと食べたいわたしと
いらぬというおばあちゃん
龍江小 4年 澤柳 未来

小学校高学年の部

夕食中
しゃべる声がかすきて
テレビの音が聞こえない
遠山中 3年 野村 和音

小学校低学年の部

反抗期
なかなか言えない
「うってきます。」
そんなときでも
母は必ずいへばうたうた
飯田東中 2年 安藤 万華子

小学校高学年の部

試合の後
やったことないけれど
よくそんなことを言えよね
と思うけど
やったことないのに
いつも応援してくれる
緑ヶ丘中 2年 大橋 星明

園児の部

夏の始まり
田植えが終わわり、
みんなニコニコ
豊作ねがい
緑ヶ丘中 2年 前澤 蒼南

小学校低学年の部

もう身長同じじゃない?
いやまだだし背伸びする
お母さんと私
緑ヶ丘中 2年 金田 美緒

小学校高学年の部

金よう日
父さん母さんビールで乾杯
子どもたちはジュースで乾杯
お家居酒屋開店です。
野牧 美好

小学校低学年の部

小さな手でしてくれる
マッサージ
心もほぐれて
ぐっすり眠れる
加藤 映子

小学校高学年の部

子供に任せた風呂掃除
ゴウグルつけて海パン履いて
濡れても平気!
とおおはしゃぎ
櫻井 真美

小学校低学年の部

手をふつて
いつもの角まで お見送り
照れくさそうに 振り返る
今日も 元気に
行つてうしやい!!
「ねえ本読もうよ」
「なんで誘うの?」
たずねる私に娘が言
「だつて読んだら話したいから」
及川 崇

小学校高学年の部

「今日どうだった?」
変わったことはないけれど
家族の会話の
スタートワード
電映中 1年 及川 宗助



家族のふれあいをワークライフバランスから

パートナー企業
募集中!

わが家の結いタイム パートナー企業認定制度

飯田市教育委員会では、家族と一緒に過ごし、心を通わせるひと時を「わが家の結いタイム」と名づけ、啓発・推進しています。家庭と仕事を両立しながらいきいきと働き続けられる職場の実現に向け、「わが家の結いタイム」の趣旨に賛同し、取り組んでいただける企業を募集します!

わが家の結いタイムパートナー企業に認定されると…

飯田市でPR! 広報いいだでも公表

認定企業を飯田市のホームページで公開します。また、年に3回の推進月間（7月、11月、2月）には広報いいだでも公表します。

イメージUP!

家庭と仕事を両立しながらいきいきと働き続けられる職場であるとのイメージアップにつながります。

啓発アイテムも

啓発アイテム（ロゴデータ、テーマソング、のぼり旗、チャレンジカード他）を提供いたしますのでご活用ください。

ご興味を持たれたら **まずはお問合せください!!**

応募は簡単2ステップ

Step1

お問い合わせください!
パートナー企業認定制度に
ついてご説明に伺います

お電話

0265-22-4511(内線 3741)

または

メール

shougai@city.iida.nagano.jp

件名「結いタイムパートナー企業応募」にてお送りください

Step2

会社としての取組をまとめて、
飯田市教育委員会へご提出
いただきます

飯田市教育委員会でご確認し、
認定させていただきます。

例えばこんな取組を…

- 企業としての結いの日を定めて、のぼり旗などでわが家の結いタイムをPRする
- 昼休みなどにわが家の結いタイムのテーマソングを流す
- わが家の結いタイム三行詩コンクールへの応募を呼びかける
- 家族で参加できる地域行事への参加を呼びかける
(夏祭り、いいだ人形劇フェスタ、風越登山マラソンなど)
- その他、趣旨に沿ったオリジナルの取組大歓迎です!



※年度末にはアンケートにご協力いただいております。好事例を横展開し、わが家の結いタイムの輪を広げていきます。

詳細はウェブサイトからも
ご覧いただけます



飯田市ホームページ
パートナー企業認定制度のご案内



三行詩コンクール
入選作品はこちら

飯田市教育委員会事務局 生涯学習・スポーツ課
〒395-0053 長野県飯田市大久保町 2534

電話 0265-22-4511(内線 3741)
メール shougai@city.iida.nagano.jp